

令和6年度 再評価対象事業一覧表（農業農村整備・県事業）

| 番号 | 事業名              | 地区名等                | 箇所名    | 基本諸元（全体事業費・受益面積等） |            |                                                           | 事業採択 | 経過年数 | 区分 | 事業費進捗率（%） | 事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等                                                                                                                                                                                                                                                          | 対応方針 |
|----|------------------|---------------------|--------|-------------------|------------|-----------------------------------------------------------|------|------|----|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
|    |                  |                     |        | 全体事業費<br>百万円      | 受益面積<br>ha | 事業内容                                                      |      |      |    |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                |      |
| 1  | 農地中間管理機構関連農地整備事業 | ながいけちゅうおう<br>長生中央   | 阿南市    | 1,800             | 64.4       | 区画整理 64.4ha                                               | R2   | 5    | ②  | 46        | 本地区の農地は、区画整理が未実施のため、不整形な農地での営農に多大な労力を費やしている。また、耕作者の高齢化や後継者不足に伴い、農地中間管理機構への貸付が行われたが、現在の基盤整備状況では、担い手が借り受けられないおそれがあり、休耕地や耕作放棄地の増加が想定された。このため、区画整理による大区画化や道路・用排水施設の整備など基盤整備を実施することで、農業の生産性向上ならびに担い手への農地の集積・集約化の加速化を図り、本地域の豊かで競争力ある農業の実現に資することとする。<br>地元受益者や阿南市からは、事業の早期完成を要望されている。 | 継続   |
| 2  | 耕地地すべり防止事業       | あいおい ちき<br>相生2期     | 那賀郡那賀町 | 233               | 135.9      | 排水路工215m<br>承水路工1,270m<br>排水ポンプ工2,905m<br>擁壁工40m<br>堰堤工2基 | R2   | 5    | ②  | 40        | 本地区は、稲作を中心に、柚・すだちなどの果樹類、おもと・ケイトウなどの花卉類などの栽培が行われている中山間農業地帯である。<br>地すべりが発生しやすい地区であるため、農地、農業用施設並びに人家や公共施設等の被害を除去、または軽減し、農業生産基盤及び生活基盤の維持・保全を図るものである。<br>農地面積、営農状況に変化はないが、近年の豪雨等により土砂災害などに対する地域の防災意識も高まっており、生産基盤・生活基盤の保全への要望は強まっている。<br>那賀町及び地元の関係者は、事業の早期完成を強く要望している。              | 継続   |
| 3  | 老朽ため池等整備事業       | だいい かねきよいけ<br>第1金清池 | 阿波市    | 595               | 108.0      | 堤体工 1式<br>取水施設工 1式                                        | R2   | 5    | ②  | 58        | 農業用ため池においては、平成30年7月豪雨を契機に防災対策への社会的関心は大きく、さらに、近年、激甚化する豪雨災害への防災意識も高まってきている。本地区の被害想定区域には住宅、農地のほか、徳島自動車道及び県道鳴門池田線があり、地域防災の安全度の向上のため補強対策は必要である。また、農業を取り巻く情勢は、農業従事者の高齢化や後継者不足等により厳しいものの、本地区の営農意欲は強く、安定的な農業用水の供給は必要である。<br>阿波市及び地元受益者（土地改良区）からは、事業の早期完成を要望されている。                      | 継続   |
| 4  | 老朽ため池等整備事業       | おその いけ<br>オソノ池      | 美馬市    | 261               | 10.0       | 堤体工 1式<br>取水施設工 1式<br>洪水吐工 1式                             | R2   | 5    | ②  | 48        | 農業用ため池においては、平成30年7月豪雨を契機に防災対策への社会的関心は大きく、さらに、近年、激甚化する豪雨災害への防災意識も高まってきている。本地区の被害想定区域には住宅、農地のほか、徳島自動車道及び県道鳴門池田線があり、地域防災の安全度の向上のため補強対策は必要である。また、農業を取り巻く情勢は、農業従事者の高齢化や後継者不足等により厳しいものの、本地区の営農意欲は強く、安定的な農業用水の供給は必要である。<br>美馬市及び地元受益者（土地改良区）からは、事業の早期完成を要望されている。                      | 継続   |
| 5  | 老朽ため池等整備事業       | わかまつ<br>若松          | 海部郡海陽町 | 136               | 22.6       | 護床工 1式<br>附帯工 1式                                          | R2   | 5    | ②  | 70        | 本地区は、度重なる洪水で護床ブロックが広範囲に流出し、また堤体部及び魚道については摩耗等が著しいことから、洪水時に決壊する恐れがある。下流域への甚大な被害を未然に防止するため、護床ブロック、堤体及び魚道の補修を行い、受益地へ用水の安定供給を図る。<br>農地面積、営農状況に変化はないが、近年の線状降水帯による豪雨等により洪水災害などに対する地域の防災意識も高まっており、生産基盤・生活基盤の保全への要望は強まっている。<br>海陽町及び地元受益者（土地改良区）は、事業の早期完成を要望している。                       | 継続   |
| 6  | 中山間地域農村活性化総合整備事業 | なかがわせいぶ<br>那賀川西部    | 阿南市    | 476               | 22.2       | 農業用排水路<br>L=227m<br>農道<br>L=685m<br>農業集落道<br>L=394m       | R2   | 5    | ②  | 76        | 本地区是那賀川の下流域に位置する中山間農業地帯であり、水稻や野菜、果樹など複合的農業が営まれているが、農業従事者の高齢化等により、生産効率の低下が懸念される。<br>一方で、地域団体「加茂谷元気なまちづくり会」による新規就農を軸とした移住推進の取組や「農村RMO」の形成推進が進むなど、地域活性化に向けた動きが活発であり、農道、用水路などの生産基盤及び集落道などの農村振興環境の整備の要望は依然として高い。<br>阿南市及び地元は事業の早期完了を要望している。                                         | 継続   |

評価対象の区分

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所
- ②事業採択後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ③事業採択後10年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ④事業採択後の準備・計画段階で5年間を経過している事業箇所
- ⑤その他社会経済情勢の変化により再評価が必要となった事業箇所
- ⑥再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所

令和6年度 再評価対象事業一覧表（森林整備・県事業）

| 番号 | 事業名    | 路線名等<br><small>ふりがな</small>              | 箇所名 | 基本諸元（全体事業費・利用区域面積・延長等） |               |           | 事業採択 | 経過年数 | 区分 | 事業費進捗率（%） | 事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 対応方針 |
|----|--------|------------------------------------------|-----|------------------------|---------------|-----------|------|------|----|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
|    |        |                                          |     | 全体事業費<br>百万円           | 利用区域面積<br>h a | 事業内容      |      |      |    |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |      |
| 7  | 林道開設事業 | 高越二戸線<br><small>こうつふたどせん</small>         | 美馬市 | 4,896                  | 1,167         | L=16,400m | H6   | 31   | ⑥  | 33        | 当林道は、平成7年度から令和5年度までに供用開始した区間を利用して、延べ336haの森林において植栽や除間伐等の施策が実施されている。今後、供用区間の増加に伴い、森林経営計画の樹立等により高性能林業機械を活用した森林の整備や保全のための施策に加えて、伐採から造林・保育の森林サイクルを確立し、県産材の増産に繋げる見込みである。<br>また、穴吹川流域の重要な水源地域として森林の整備が求められているほか、緊急時における国道および市道を補完する迂回路としての役割を担うことから、地元美馬市をはじめ関係者からは、早期完成を強く要望されている。                                                      | 継続   |
| 8  | 林道開設事業 | 世戸谷栗山奥せん線<br><small>せとだにあわやまおくせん</small> | 三好市 | 1,160                  | 562           | L=10,540m | H27  | 10   | ③  | 36        | 当林道の利用区域内における森林総面積562haのうち、人工林面積は473haと人工林率は84%となっており、人工林のうち10齢級以上の伐期を迎えた林分は63%を超えている。採択されてから森林整備を進めていたが、平成30年7月豪雨の影響により、進入路である県道や林道が被災し、復旧に相当の時間を要したが、令和4年度には復旧が図られたことから、今後は着実に森林整備が進められる計画である。<br>当林道によって、地域内のアクセスが容易となり、到達時間の短縮による労働条件の改善が図られ、国土保全・保健休養等、公益的機能の発揮及び強化に向けた、森林の適正な整備、保全を推進する基幹的な林道として早期完成が三好市をはじめ関係者から大いに期待されている。 | 継続   |

評価対象の区分

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所
- ②事業採択後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ③事業採択後10年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ④事業採択後の準備・計画段階で5年間が経過している事業箇所
- ⑤その他社会経済情勢の変化により再評価が必要となった事業箇所
- ⑥再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所

令和6年度 再評価対象事業一覧表（県土整備部関係事業・県及び市町村事業）

| 番号 | 事業名        | 事業者 | 路線名・河川名等                       | 市町村名 | 基本諸元<br>全体事業費 C(百万円)等                               | 事業採<br>択年度 | 経過<br>年数 | 区分 | 進捗率(%) |     | 事業を巡る社会経済情勢・地元状況の変化等                                                                                                                                                   | 対応方針 |
|----|------------|-----|--------------------------------|------|-----------------------------------------------------|------------|----------|----|--------|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
|    |            |     |                                |      |                                                     |            |          |    | 事業費    | 用地  |                                                                                                                                                                        |      |
| 1  | 海岸保全施設整備事業 | 徳島県 | あさかわこう かいがん<br>浅川港海岸           | 海陽町  | 湾口防波堤L=740m<br>防潮堤L=1,800m<br>水門N=2基<br>C=11,217百万円 | H12        | 24       | ⑥  | 63     | —   | 当海岸は、V字地形の典型的なリアス式海岸であるため、大きな津波の被害を受けている。また当海岸内の浅川港は、徳島県地域防災計画の拠点港に指定されるなど、県南部の重要な港となっている。当事業により、浅川地区住民の生命財産を守るとともに、災害時における緊急海上輸送の機能が確保される。令和11年度の完成を目指している。           | 継続   |
| 2  | 道路改築事業     | 徳島県 | 一般国道438号<br>みやだいら<br>宮平バイパス    | つるぎ町 | L=2,360m<br>W=6.5(9.5～12.0)m<br>C=9,300百万円          | H7         | 30       | ⑥  | 57     | 100 | 当路線は、徳島県徳島市からつるぎ町を經由し、香川県坂出市に至る幹線道路で第2次緊急輸送道路に指定されている。当該区間は、幅員狭小、線形不良区間が連続する上に落石危険箇所が点在するなど、交通の隘路となっていることから、当該事業により安全で円滑な交通を確保する。令和12年度(2030年度)の供用を目指している。             | 継続   |
| 3  | 街路事業       | 徳島県 | すみよしばんだいそのせげしせん<br>(都)住吉万代園瀬橋線 | 徳島市  | L=1,040m, W=13.0(25.0)m<br>C=14,000百万円              | H12        | 25       | ⑥  | 58     | 80  | 当路線は内環状道路の一部を形成する4車線道路である。徳島市中心部では、都市内交通や通過交通が集中し、慢性的な交通渋滞が発生している。当事業により、徳島市中心部の渋滞緩和や歩行者及び自転車の交通安全対策等に大きな効果が見込まれる。                                                     | 継続   |
| 4  | 公園事業       | 徳島県 | なんぶけんこううんどうこうえん<br>南部健康運動公園    | 阿南市  | A=70ha<br>C=12,500百万円                               | H12        | 25       | ⑥  | 98     | 100 | 当公園は、県南地域の活性化や、子供からお年寄りまでの健康づくりを目的として整備を進めており、平成19年度の野球場の供用以降、テニスコートや陸上競技場など順次供用してきた。今後、アーチェリー場などの未整備施設の必要性について関係市町・関係団体と再整理を行うとともに災害時に求められる当該公園の防災・復興ニーズの調査、研究を行っていく。 | 継続   |
| 5  | 広域河川改修事業   | 徳島県 | にしおおぼりがわ<br>西大堀川               | 徳島市  | L=2,300m<br>河道拡幅<br>C=3,500百万円                      | H3         | 28       | ⑥  | 71     | 80  | 当河川は、徳島市を流れる一級河川で、過去には平成16年、26年などに浸水被害が発生した。全体改修延長2.3kmの河川改修を進めており、約1.5kmは概成している。残る区間の早期改修を望む地元要望も強く、引き続き事業を推進し、令和20年度の完成を目指している。                                      | 継続   |
| 6  | 広域河川改修事業   | 徳島県 | くわのがわ<br>桑野川                   | 阿南市  | L=9,750m<br>河道拡幅<br>C=14,000百万円                     | S31        | 68       | ⑥  | 94     | 97  | 当河川は、阿南市を流れる一級河川で、平成10年、11年などに浸水被害が発生した。全体改修延長約9.8kmの河川改修を進めており、河道掘削を残し概成している。残る完成形改修の早期改修を望む地元要望も強く、引き続き事業を推進し、令和18年度の完成を目指している。                                      | 継続   |
| 7  | 広域河川改修事業   | 徳島県 | おかがわ<br>岡川                     | 阿南市  | L=3,400m<br>築堤<br>C=5,800百万円                        | S46        | 53       | ⑥  | 58     | 38  | 当河川は、阿南市を流れる一級河川で、平成16年、26年などに浸水被害が発生した。全体改修延長3.4kmの河川改修を進めており、約1.3kmの改修が概成している。残る区間の早期改修を望む地元要望も強く、引き続き事業を推進し、令和21年度の完成を目指している。                                       | 継続   |
| 8  | 広域河川改修事業   | 徳島県 | なかがわ わじき とさ<br>那賀川(和食・土佐)      | 那賀町  | L=2,000m<br>築堤<br>C=14,200百万円                       | H27        | 9        | ⑥  | 86     | 99  | 当河川は、那賀町から阿南市を流れる一級河川で、平成26年、27年などに浸水被害が発生した。全体改修延長2.0kmの河川改修を進めており、床上浸水対策特別緊急事業により暫定改修は概成している。残る完成形改修の早期改修を望む地元要望も強く、引き続き事業を推進し、令和16年度の完成を目指している。                     | 継続   |
| 9  | 広域河川改修事業   | 徳島県 | なかがわ いずはら<br>那賀川(出原)           | 那賀町  | L=1,300m<br>河道拡幅<br>C=1,950百万円                      | H27        | 9        | ⑥  | 89     | 69  | 当河川は、那賀町から阿南市を流れる一級河川で、平成26年、27年などに浸水被害が発生した。全体改修延長1.3kmの河川改修を進めており、約0.6kmの改修は概成している。残る区間の早期改修を望む地元要望も強く、引き続き事業を推進し、令和11年度の完成を目指している。                                  | 継続   |

令和6年度 再評価対象事業一覧表（県土整備部関係事業・県及び市町村事業）

| 番号 | 事業名      | 事業者 | 路線名・河川名等        | 市町村名 | 基本諸元<br>全体事業費C(百万円)等           | 事業採<br>択年度 | 経過<br>年数 | 区分 | 進捗率(%) |     | 事業を巡る社会経済情勢・地元状況の変化等                                                                                                              | 対応方針 |
|----|----------|-----|-----------------|------|--------------------------------|------------|----------|----|--------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
|    |          |     |                 |      |                                |            |          |    | 事業費    | 用地  |                                                                                                                                   |      |
| 10 | 総合流域防災事業 | 徳島県 | いわやがわ<br>岩谷川    | 吉野川市 | L=1,400m<br>河道拡幅<br>C=4,500百万円 | H22        | 14       | ⑥  | 18     | 21  | 当河川は、吉野川市を流れる一級河川で、平成16年、21年などに浸水被害が発生した。全体改修延長1.4kmの河川改修を進めており、約0.7kmの改修は概成している。残る区間の早期改修を望む地元要望も強く、引き続き事業を推進し、令和22年度の完成を目指している。 | 継続   |
| 11 | 総合流域防災事業 | 徳島県 | おおつだがわ<br>大津田川  | 阿南市  | L=1,400m<br>河道拡幅<br>C=1,745百万円 | S45        | 54       | ⑥  | 71     | 86  | 当河川は、阿南市を流れる一級河川で、平成16年、26年などに浸水被害が発生した。全体改修延長1.4kmの河川改修を進めており、約0.9kmの改修は概成している。残る区間の早期改修を望む地元要望も強く、引き続き事業を推進し、令和16年度の完成を目指している。  | 継続   |
| 12 | 総合流域防災事業 | 徳島県 | みやがたにがわ<br>宮ヶ谷川 | 那賀町  | L=310m<br>宅地嵩上げ<br>C=3,000百万円  | H20        | 16       | ⑥  | 87     | 100 | 当河川は、那賀町から阿南市を流れる一級河川で、平成21年に浸水被害が発生した。全体改修延長0.3kmの河川改修を進めており、約0.28kmの改修は概成している。残る区間の早期改修を望む地元要望も強く、引き続き事業を推進し、令和10年度の完成を目指している。  | 継続   |

【評価対象事項の①～⑦の区分】

- ① 事業採択後5（3）年目で未着工の事業箇所

② 事業採択後5年目で継続中の事業箇所（補助事業、砂防事業）

③ 事業採択後10年目で継続中の事業箇所（交付金事業等）

④ 事業採択後の準備・計画段階で5年間が経過している事業箇所
- ⑤ その他、社会経済情勢の変化等により見直しが必要な事業箇所

⑥ 再評価後5（3）年間を経過した事業

⑦ 事後評価対象
- ※①、⑥の（）は砂防事業の場合

令和6年度 事後評価対象事業一覧表（県土整備部関係事業・県及び市町村事業）

| 番号 | 事業名        | 事業者 | 路線名・河川名等                                   | 市町村名 | 基本諸元                                        | 事業採択年度 | 事業を巡る社会経済情勢・地元状況の変化等                                                                                                                                                                                                     |
|----|------------|-----|--------------------------------------------|------|---------------------------------------------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    |            |     |                                            |      | 全体事業費 C(百万円)等                               |        |                                                                                                                                                                                                                          |
| 1  | 緊急地方道路整備事業 | 徳島県 | 主要地方道<br>あなん あいおい<br>阿南相生線<br>あわたの<br>新野工区 | 阿南市  | L=1.2kmm<br>W=6.0(10.5~11.0)m<br>C=2,590百万円 | H10    | <p>当路線は、阿南市橘町から新野地区を經由し、那賀町に至る延長約26kmの路線であり、地域間交流の促進や通勤・通学をはじめとした生活道路として重要な道路である。</p> <p>当該区間は、幅員狭小、車両の離合が困難なうえ、歩道も未整備である。また、現道とJR牟岐線の交差部である新野踏切では、交通渋滞が発生し、交通の隘路区間であるため、鉄道交差部のアンダーパス化と自歩道を備えた、2車線のバイパス道路を整備したものである。</p> |